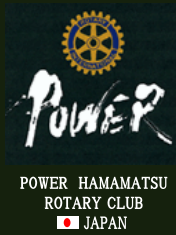


国際ロータリー第2620地区  
静岡第5グループ



# 週報 パワー浜松ロータリークラブ

もう一步前へ！

RI 会長 フランチェスコ・アレツツォ / 第 2620 地区ガバナー 稲葉雅之 / 会長 加藤恵司 / 幹事 鈴木 亮  
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松内 Tel:053-452-0800  
Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp  
創立：2002年10月22日 認証伝達式：2003年4月29日 スポンサークラブ：浜松中RC

よいことのために  
手を取りあおう



Rotary

## 第1042回例会1月27日(火)AM7:30~8:30

- 会場：オークラクトシティホテル浜松 3階 チェルシーの間
- 司会：藤田光弘 井熊正浩
- 点鐘：加藤恵司
- 週報：匂坂幸治
- ロータリーソング：「希望のエネルギー」
- ゲスト：米山記念奨学生 オウ・ウテイさん

## 出席報告/スマイル報告

会員数 67 名 (内出席免除会員 3 名)  
出席数 51 名 出席率 79.69%

スマイル提出者氏名掲載：小林会員・小田木会員・熊谷会員・堀内会員・大石会員・会員維持増強委員会

## 会長挨拶 会長 加藤恵司

おはようございます。

こここのところ本格的に寒くなってきました。皆さんヒートショックには十分ご注意ください。本日は、本を出版されたりして、バリバリ活動されている村木さんに「浜松市の創業支援の現状」について卓話して頂きます。

村木さんには、今年度奉仕部門の副会長として主に寺子屋しんづの企画をお願いしました。地区補助金の申請を出さなければいけない時期（そろそろ今年もその時期が近づいてきました。）に私の頭の中はまだ漠然とした考えしか無かったんですが、その時、理路整然とした企画書をバーンと出して頂き感動した覚えがあります。

あの企画書のパターンが、会長所信を作る時とても参考になりました。

その後も1年分の担当割を早々に作り大変スムーズに事業が進んでいるのは大変ありがたいです。

そんな村木さんのお話を聞けるのを楽しみにしています。

無茶ぶりですが、最近はやりの ChatGPT などの生成 AI をどのように使いこなしているのかも少しお話頂けると嬉しいです。

それでは本日もよろしくお願い致します。



## 幹事報告 幹事 鈴木 亮

- ① オークラクトシティホテル浜松様より中野信子さんの講演会&ディナーのチラシが配布されております。ご興味のある方は各自お申込み下さい。
- ② 例会終了後に第7回役員理事会がございます。
- ③ 原田道子会員が入院されると、次男の方より連絡頂きました。



## 王さん 中国語講座

王会員による中国語講座が実施されました。講座では「走る・跳ぶ・持つ・座る」を意味する基本的な動詞を中心に、発音練習およびクイズ形式の演習が行われ、会員は実践的に中国語表現を学びました。講師からは発音や理解度について高い評価があり、双方向型の有意義な学習の場となりました。



## ハッピーバースデー

- 安間利広 会員
- 加藤恵司 会長
- 曾布川美登理 会員
- 鈴木一広 会員
- 大石莉帆 会員



## 議事

### 村木則予会員 卓話

#### 「浜松市の創業支援の現状」 担当：社会奉仕委員会

#### 1. 浜松市における創業支援の背景と体制

現在、全国的に「廃業率が開業率を上回る」という逆転現象が続いており、税収確保や地域活性化の観点から行政による創業支援が重要視されています。浜松市はこの動きにいち早く対応し、12年前から本格的な支援体制を整えてきました。現在は、浜松市、浜松商工会議所、および浜松地域イノベーション推進機構の3者が連携した「浜松スタートアップ推進協議会」が中心となり、起業を志す人々へワンストップの相談窓口を提供しています。



#### 2. ビジネスモデルに応じた支援の使い分け

創業支援はその事業の特性によって大きく2つの窓口に分けられています。一つは、地域に根ざして着実な成長を目指す「スモールビジネス」で、美容院や飲食店、学習塾などがこれにあたります。これらの相談は商工会議所1階の「浜松起業カフェ」が担っています。もう一つは、短期間で急成長し、世界市場を見据える「スタートアップ」です。これらはザザシティ中央館の「FUSE（フューズ）」に集約され、専門的な育成が行われています。また、ゼロからの起業だけでなく、後継者を探している事業者と起業希望者を結びつける「事業承継」を通じた創業支援にも力が入られています。



#### 3. 浜松起業カフェの活動と相談者の傾向

「浜松起業カフェ」には年間で約1,000名が訪れ、1日あたり4~5件の相談に対応しています。リピーターが6割を占めるなど、継続的なサポートが行われているのが特徴です。相談内容は資金繰りや補助金といった実務的なものから、転職か起業かで悩む「人生相談」に近いものまで多岐にわたります。相談者の業種としては、初期投資を抑えやすいサービス業が最も多く、次いで飲食業が続きます。近年では、コロナ禍の影響でパーソナルジムの開業が増えたほか、現在は放課後等デイサービスなどの医療・福祉分野への関心が高まっているなど、社会情勢を反映した変化が見られます。



#### 4. 創業者へのメリットと支援制度

行政の窓口で相談することには実務的なメリットも多く存在します。例えば、1ヶ月以上にわたって4回以上の相談を受けることで「特定創業支援等事業」の証明を受けることができます。これにより、会社設立時の登録免許税が半額（株式会社なら15万円が7.5万円など）になるほか、融資の利息優遇や、最大200万円規模の創業補助金の申請が可能になるなど、資金面での強力なバックアップが得られます。

#### 5. 最新 AI ツールの活用と今後の展望

今回の発表資料の作成には Google の「NotebookLM」などの最新 AI が活用されました。これはテキスト情報を入れるだけで AI が内容を解釈し、プロフェッショナルなプレゼンテーション資料を自動生成するものです。他にも「Canva」によるデザイン制作や、AI アバターにナレーションを喋らせる動画生成など、創業現場でも AI 活用が急速に進んでいます。今後は、AI が個別の業務をサポートする「AI エージェント」や、物理的な動きを伴う「フィジカル AI」の普及も予測されており、これら最新技術を味方につけることが、これからの創業や事業継続において鍵となると考えられます。

